



いつついし自治会報 492号

2019年(令和元年)11月号

## 第6回町内会長会開催

いつついし自治会  
9月町内会長会

9月20日(金)、いつついし自治会第6回町内会長会を福光交流センターで開催しました。

### 1. 武田県議より次のような話がありました。

- ・新しい武道館の建設予定地として、富山市と高岡市の2つが候補としてあがっています。呉西の発展という観点からも議会で問いたい。
- ・豚コレラのワクチン接種が決まりました。しかし、公務員獣医師の数が全国的に少なく富山県も不足しているので、今後増やしていくことが課題です。
- ・南砺市の消防団の再編が行われます。2～3年の内に、現在の団員1,230人を800～1,000人に減らしますが、安全・安心には影響がないようにします。

### 2. 連絡事項として、次のことが出されました。

- ・福祉会館周辺まちづくり協議会は、平成26年に市長に提言書を提出しました。その後、生涯学習スポーツ課と交渉しながら進めてきましたが、庁舎移転問題で協議は中止することになりました。中止期間においても、まちづくり談議や朝市の開催、先進地視察、講演会の実施などの活動を行ってきました。また、新たに福光高校再編の問題も出てきました。現在、庁舎問題が終了し、市側との話し合いを再開することとなりました。協議会としては、福祉会館周辺は町の「へそ」として町民の憩いの場であり、防災上の拠点としても重要であるという観点か

ら、福祉会館周辺を中心に再編を進めていくことを要望していきます。

- ・宇佐八幡宮の「軽量神輿の購入と倉庫の建設事業」は事業費二千万円で発注しました。神輿の重量は現在の神輿の約半分となります。この件についての趣意書は各町内で回覧されますが、本来、計画の段階で氏子に提案されるべきであったかと思えます。
- ・左義長について、規模を縮小して行うこととなっていた櫓の図面が、片山部長から示されました。幅4メートル、高さ4メートルで、従来の物より幅2メートル、高さ1.7メートル小さくなります。
- ・防犯連絡所と子ども110番の家の役割等について、防犯協会事務局長による研修会を予定しています。
- ・令和3年は松村謙三没後50年になります。資料整理や記念講演等の企画が検討されていますが、謙三所縁の迎月亭(こうげつてい)を南砺市の文化財に指定するよう、いつついし自治会として要望していきます。
- ・今年度は山に熊のエサであるミズナラの出来が悪く、熊が山から平野に降りてくる予測が大きい状況です。山菜取りや柿の実の放置などに配慮してください。
- ・南砺市議会では、議員定数について意見交換をしています。意見をお寄せください。

## 昭和54年福光大火から40年心あらたに



9月22日(日)雨が心配される中、福光行政センター前駐車場で福光防火大会が開催されました。神村方面団長の防火・防災の挨拶、田中市長・武田県議など来賓の挨拶がありました。式典の後、防火の大切さと火を出さないとの誓いのもと、福光大橋→東町→本町……河川公園に向けて出発しました。

参加者は南砺市消防団福光方面団、各地域自主防災会、幼年消防クラブなど約1,000人でした。山本分団長率いる福光分団、どんぐり保育園の園児達、いつついし自主防災会のメンバーも堂々の行進でした。アトラクションも無事終了しました。参加された皆様ありがとうございました。





# 福光交流センター祭り

10月6日(日)



どんぐり保育園児作品



お休み処



書道・華道展



福紹会



華道展



健康相談



太極拳



キッチンカー



鶴友会若返り作品&親子陶芸教室作品



売店



## 県民ふれあい公演福光交流センターで開催！



10月6日(日)、福光交流センター祭りで富山県立高岡商業高等学校吹奏楽部による演奏会が行われました。会場にはたくさんの観客が聴きに来られました。

吹奏楽部40名と観客約150名で交流センターは大いに盛り上がりました。



## 福光地区敬老会開催される

9月8日(日)、福光地区敬老会が福祉会館にて開催されました。

福光地区の敬老会対象となる75歳以上の方は868名で、当日は233名の方が出席されました。

式典では敬老会実行委員長のいつついし自治会蟹野会長挨拶の後、市より米寿対象者にお祝い状が、いつついし自治会からは記念品の贈呈がありました。その後、来賓の地域包括医療ケ

ア部井口一彦担当部長・武田慎一富山県議会議員・水口秀治南砺市議会議員より祝辞を受けました。

その後のアトラクションでは、鶴友会合唱部の合唱、南砺警察署による詐欺注意喚起の寸劇、N&Kの歌、かおる会の踊り、風音会の越中おわら踊りがあり、参加者の皆さんに敬老を祝う楽しい一時を過ごしていただきました。



米寿対象者に市よりお祝い状贈呈



自治会より記念品贈呈

# 福光宇佐八幡宮 御神輿新調

福光宇佐八幡宮は、天平勝宝2年豊前国宇佐八幡宮の分霊を勧請して鎮座され、古来より疫病除けの神として崇敬されています。天正年間には当神社の別当寺であった寛仁寺は加賀藩の祈禱所として、歴代の藩主やその一族から病氣平癒のために使者が度々派遣されました。また、安永九年には11代藩主治脩、安政3年には13代藩主斎泰が親しく参拝して武運の長久を祈願されています。

現在の社殿は、天保15年に松井角平棟梁によって再建がなされました。明治6年に「郷社」となり、昭和20年「県社」に昇格内定、昭和26年、鎮座1200年大祭を盛大に斎行し、昭和33年本殿屋根を銅板に葺き替えられたのが主な歴史です。

福光宇佐八幡宮の御神輿巡幸は、中断していた時期がありましたが、天明8年に再興されました。御神輿の担ぎ方は、各町が交代で担当していたものが、明治34年から厄年の男性が奉仕することに改められ現在に至っております。

ところが近年、少子高齢化等により若者の減少が甚だしく、深刻な担ぎ方不足に陥り、巡幸継続が危ぶまれています。このことから、氏子さんを始め関係の方々との協議を重ねた結果、軽量の御神輿を新調して、担ぎ方減少に対応し、巡幸を継続する方針が決められました。担ぎ方も従来通り、厄年の皆さんの主導による方法を踏襲することが最良の手法であることも再認識されました。また、現在の大御神輿は老朽化しており、修繕の時期であることも考慮し現



状保管、令和初春季祭礼の時代の節目ということも後押しになり、次期春季祭礼より新しい御神輿で巡幸させていただくことになりました。

現在製作中で写真のような御神輿が令和2年春季祭礼にはお披露目できる予定です。

### 歴史ある伝統文化

を守り、氏神様のさらなるご加護と安寧を願いつつ、これからも宇佐八幡宮に深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

十月詠草

(福光短歌会)

若き日に未来と云ひし今を生き日日の暮らしに感謝の生るる  
 青空もかくも続くと色あせて時にうつすら雲欲しくなる  
 ひんやりと寒さ感ずる朝焼けの自然の流れに しばし見とるる  
 星稜の校歌に刻みし医王山 夏の甲子園五度も流るる  
 先に登り夫の姿は見えねども小さき花に励まされゆく  
 美術館の「福光時代の志功展」に菩薩の美人画版画で見たり

山崎 芳子  
 斉藤 よしえ  
 竹本 幸子  
 宮崎 平作  
 桃野 瑞恵  
 宮岸 昇

福光地区  
11月行事のお知らせ

11/9(土)	公民館研修	富山市新庄公民館
11/10(日)	江ざらい	
11/13(水)	第8回上映会	午後1時30分より
11/15(金)	第8回そくさい会	午後1時30分より
11/17(日)	除雪対策委員会	
11/19(火)	福寿大学	午後2時より
11/22(金)	町内会長会	午後7時より

(福光俳句会)

立山の風に素直や蕎麦の花  
 雨溜る深き轍の刈田かな  
 坂の町川音はしる風の盆  
 台風の悪さ憎らし停電福  
 コスモスの白とピンクがそよぐ道  
 十六夜の月白みゆく朝の畑  
 機音に胡弓の音や秋の町  
 みそ汁の湯気のゆらめき秋涼し  
 夜半の雨虫の音止めて夜明けまで

駒形 隼男  
 梅島 くにを  
 尾崎 いつ子  
 利川 輝  
 直井 真  
 中山 朝  
 名村 五月  
 安田 富子  
 山下 喜就